

高等専修学校における多様な学びを保障する先導的研究事業

基本情報

組織情報	府省庁	文部科学省				
	事業所管課室	文部科学省 総合教育政策局 生涯学習推進課 専修学校教育振興室 専修学校第2係				
	作成責任者	新木聡				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	006784	事業開始年度	2024	事業終了（予定）年度	2026
	事業年度	2026	事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策	施策			政策体系・評価書URL
	文部科学省	1 新しい時代に向けた教育政策の推進	1 - 4 生涯を通じた学習機会の拡大			https://www.mext.go.jp/content/20251028-mxt_kanseisk01-000036110_01.pdf
関連事業	--		主要経費	教育振興助成費		
概要・目的	事業の目的	高等専修学校と都道府県、地域の企業等が連携体制を構築し、高等専修学校の職業教育機能を強化しつつ、社会的・職業的自立が実現できるモデルカリキュラム等の開発とその普及啓発を行い、都道府県行政における高等専修学校の位置づけの明確化や、高等専修学校の認知度向上を図る。				
	現状・課題	高等専修学校は、高等学校とは異なる柔軟性の高い制度特性を生かして、社会的・職業的自立に向けた実践的教育を行っており、卒業生の約4割が就職という進路を歩んでいる。「経済財政運営と改革の基本方針2023（令和5年6月16日閣議決定）」では、産業界と連携した職業教育の推進等について言及されており、社会に出る準備を行う後期中等教育における職業教育機関として、地元企業等の産業界との連携を一層促進していく必要がある。また、生徒のうち約2割は不登校経験がある等、不登校や発達障害等の特別の配慮が必要な生徒が一定割合在籍している一方で、高等専修学校の約半数は大学入学資格付与校となっており、大学進学への道も拓けている。こうした「学びのセーフティネット」としての機能を果たしているという側面も踏まえ、「第4期教育振興基本計画（令和5年6月16日閣議決定）」では、その運営にかかる支援について都道府県と連携しつつ推進していく旨、言及されているところである。他方で、高等専修学校の社会的な認知度は低く、教育振興基本計画において位置付けを明記している都道府県も多くはないことから、中学校等に対する今後の周知活動や都道府県と連携した更なる振興が必要である。				
	事業の概要	高等専修学校と都道府県、地域の企業等が連携体制を構築し、高等専修学校に求められる職業教育機能を強化しつつ、「学びのセーフティネット」としての役割も踏まえた社会的・職業的自立が実現できるモデルカリキュラム等の開発とその普及啓発を行う。				
	事業概要URL	https://www.mext.go.jp/content/20240416-mxt_syogai01-000035503_1.pdf				
根拠法令	法令名	法令番号	条	項	号・号の細分	
	--	--	--	--	--	

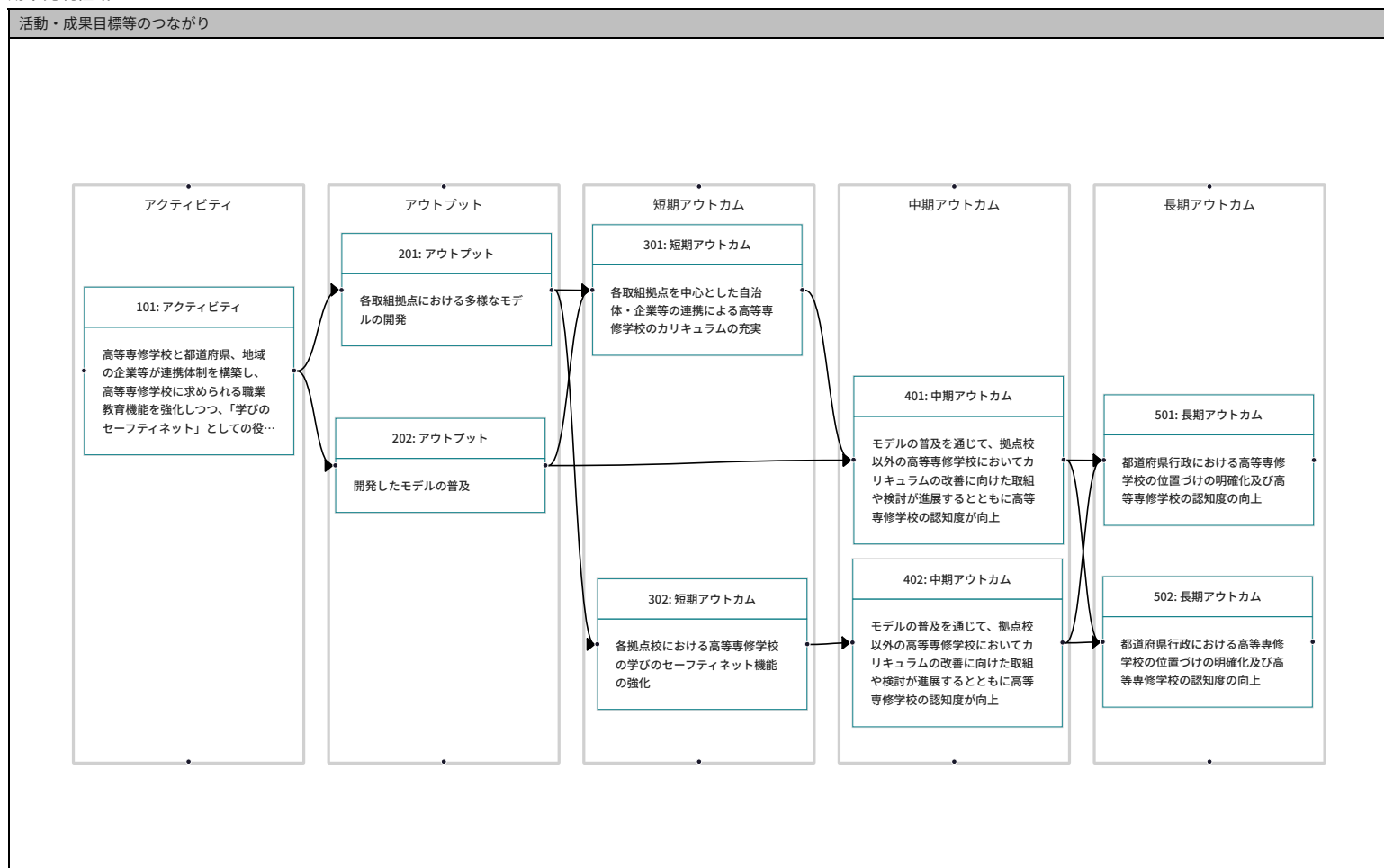
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL			
	経済財政運営と改革の基本方針2024（令和6年6月21日閣議決定）	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/honebuto/2024/2024_basicpolicies_ja.pdf			
	第4期教育振興基本計画（令和5年6月16日閣議決定）	https://www.mext.go.jp/content/20230615-mxt_soseisk02-100000597_01.pdf			
実施方法	直接実施				
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL	
	--	--	--	--	
備考	※なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。				

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)		2023	2024	2025	2026	2027
要求額		--	138,000	139,068	118,921	--
当初予算		0	118,743	118,676	104,978	--
補正予算		--	--	--	--	--
前年度から繰越し		--	--	--	--	--
予備費等		--	△25,133	△1,390	--	--
計		0	93,610	117,286	104,978	--
執行額		--	74,647	105,813	--	--
執行率		--	79.7%	90.2%	--	--

予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--		--	--
		予算種別/歳出予算項目		備考	予算額	翌年度要求額
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当初予算</div> 一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 教育政策推進費 / 教育政策推進事業委託費		--	104,093	--
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当初予算</div> 一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 教育政策推進費 / 職員旅費		--	320	--
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当初予算</div> 一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 教育政策推進費 / 諸謝金		--	240	--
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当初予算</div> 一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 教育政策推進費 / 委員等旅費		--	190	--
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当初予算</div> 一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 教育政策推進費 / 庁費		--	135	--
主な増減理由	--			その他特記事項	--	

効果発現経路



アクティビティからの発現経路 101-201-301-401-501

アクティビティ	高等専修学校と都道府県、地域の企業等が連携体制を構築し、高等専修学校に求められる職業教育機能を強化しつつ、「学びのセーフティネット」としての役割も踏まえた社会的・職業的自立が実現できるモデルカリキュラム等の開発とその普及啓発を行う。							
アウトプット	活動目標	各取組拠点における多様なモデルの開発		活動指標	開発したモデル数			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	文部科学省調べ			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績	2024年度				2025年度		2026年度	
	当初見込み／目標値(モデル)	5		5		5		
	活動実績／成果実績(モデル)	5		5		--		
後続アウトカムへのつながり	多様なモデルの開発により、高等専修学校のカリキュラムを充実させることが重要であることから、「取組拠点が連携する自治体・企業等の数」を指標とする。							
短期アウトカム	成果目標	各取組拠点を中心とした自治体・企業等の連携による高等専修学校のカリキュラムの充実			成果指標	取組拠点が連携する自治体・企業等の数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	文部科学省調べ		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績					目標年度 2026年度			
	当初見込み／目標値(件)				180			
	活動実績／成果実績(件)				--			
	達成率(%)				--			
後続アウトカムへのつながり	自治体・企業等の連携によって充実したカリキュラムについて、拠点校以外の高等専修学校においてもカリキュラムの改善や検討の進展等が重要であることから、「フォーラムにおいてモデルを取り入れる際の課題や工夫等を共有した高等専修学校、自治体及び専修学校団体の数」を指標とする。							

中期アウトカム	成果目標	モデルの普及を通じて、拠点校以外の高等専修学校においてカリキュラムの改善に向けた取組や検討が進展するとともに高等専修学校の認知度が向上			成果指標	フォーラムにおいてモデルを取り入れる際の課題や工夫等を共有した高等専修学校、自治体及び専修学校団体の数				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	全国高等専修学校協会調べ				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績					目標年度 2026年度					
	当初見込み／目標値(件)				50					
	活動実績／成果実績(件)				--					
	達成率(%)				--					
後続アウトカムへのつながり	拠点校以外の高等専修学校においてカリキュラムの改善に向けた取組や検討を進展させ、都道府県行政における高等専修学校の位置づけの明確化及び高等専修学校の認知度を向上させることが重要であることから、「教育振興基本計画等において高等専修学校に関して記載している都道府県の数」を指標とする。									
長期アウトカム	成果目標	都道府県行政における高等専修学校の位置づけの明確化及び高等専修学校の認知度の向上			成果指標	教育振興基本計画等において高等専修学校に関して記載している都道府県の数				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	文部科学省調べ				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績			2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度
	当初見込み／目標値(都道府県)	--		--	--	--	--	--	--	19
	活動実績／成果実績(都道府県)	2		2	2	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--		--	--	--	--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 101-201-301-401-502

アクティビティ	高等専修学校と都道府県、地域の企業等が連携体制を構築し、高等専修学校に求められる職業教育機能を強化しつつ、「学びのセーフティネット」としての役割も踏まえた社会的・職業的自立が実現できるモデルカリキュラム等の開発とその普及啓発を行う。			
アウトプット	活動目標	各取組拠点における多様なモデルの開発	活動指標	開発したモデル数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	文部科学省調べ
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度
	当初見込み／目標値(モデル)	5	5	5
	活動実績／成果実績(モデル)	5	5	--
後続アウトカムへのつながり	多様なモデルの開発により、高等専修学校のカリキュラムを充実させることが重要であることから、「取組拠点が連携する自治体・企業等の数」を指標とする。			
短期アウトカム	成果目標	各取組拠点を中心とした自治体・企業等の連携による高等専修学校のカリキュラムの充実	成果指標	取組拠点が連携する自治体・企業等の数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	文部科学省調べ
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		目標年度 2026年度		
	当初見込み／目標値(件)	180		
	活動実績／成果実績(件)	--		
	達成率(%)	--		
後続アウトカムへのつながり	自治体・企業等の連携によって充実したカリキュラムについて、拠点校以外の高等専修学校においてもカリキュラムの改善や検討の進展等が重要であることから、「フォーラムにおいてモデルを取り入れる際の課題や工夫等を共有した高等専修学校、自治体及び専修学校団体の数」を指標とする。			

中期アウトカム	成果目標	モデルの普及を通じて、拠点校以外の高等専修学校においてカリキュラムの改善に向けた取組や検討が進展するとともに高等専修学校の認知度が向上	成果指標	フォーラムにおいてモデルを取り入れる際の課題や工夫等を共有した高等専修学校、自治体及び専修学校団体の数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	全国高等専修学校協会調べ		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		目標年度 2026年度				
	当初見込み／目標値(件)	50				
	活動実績／成果実績(件)	--				
	達成率(%)	--				
後続アウトカムへのつながり	拠点校以外の高等専修学校においてカリキュラムの改善に向けた取組や検討を進展させ、高等専修学校の認知度を向上させることが重要であることから、「高等専修学校について知っている中学校教員の割合」を指標とする。					
長期アウトカム	成果目標	都道府県行政における高等専修学校の位置づけの明確化及び高等専修学校の認知度の向上	成果指標	高等専修学校について知っている中学校教員の割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	文部科学省調べ		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度
	当初見込み／目標値(%)	--	--	--	--	50
	活動実績／成果実績(%)	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 101-201-302-402-502

アクティビティ	高等専修学校と都道府県、地域の企業等が連携体制を構築し、高等専修学校に求められる職業教育機能を強化しつつ、「学びのセーフティネット」としての役割も踏まえた社会的・職業的自立が実現できるモデルカリキュラム等の開発とその普及啓発を行う。			
アウトプット	活動目標	各取組拠点における多様なモデルの開発	活動指標	開発したモデル数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	文部科学省調べ
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度
	当初見込み／目標値(モデル)	5	5	5
	活動実績／成果実績(モデル)	5	5	--
↓後続アウトカムへのつながり	多様なモデルの開発により、各拠点校における高等専修学校の学びのセーフティネット機能を強化することが重要であることから、「拠点校における対象生徒の出席状況」を指標とする。			
短期アウトカム	成果目標	各拠点校における高等専修学校の学びのセーフティネット機能の強化	成果指標	拠点校における対象生徒の出席状況
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	文部科学省調べ
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		目標年度 2026年度		
	当初見込み／目標値(新たな指標のため目標値は検討中)	0		
	活動実績／成果実績(新たな指標のため目標値は検討中)	--		
	達成率(%)	--		
↓後続アウトカムへのつながり	各拠点校における高等専修学校の学びのセーフティネット機能を強化し、拠点校以外の高等専修学校においてもカリキュラムの改善や検討の進展等が重要であることから、「不登校が改善または改善傾向にある生徒数の割合」を指標とする。			

中期アウトカム	成果目標	モデルの普及を通じて、拠点校以外の高等専修学校においてカリキュラムの改善に向けた取組や検討が進展するとともに高等専修学校の認知度が向上	成果指標	不登校が改善または改善傾向にある生徒数の割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	全国高等専修学校協会調べ		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		目標年度 2026年度				
	当初見込み／目標値(%)	90				
	活動実績／成果実績(%)	--				
	達成率(%)	--				
↓後続アウトカムへのつながり	拠点校以外の高等専修学校においてカリキュラムの改善に向けた取組や検討を進展させ、高等専修学校の認知度を向上させることが重要であることから、「高等専修学校について知っている中学校教員の割合」を指標とする。					
長期アウトカム	成果目標	都道府県行政における高等専修学校の位置づけの明確化及び高等専修学校の認知度の向上	成果指標	高等専修学校について知っている中学校教員の割合		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	文部科学省調べ		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度
	当初見込み／目標値(%)	--	--	--	--	50
	活動実績／成果実績(%)	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 101-202-301-401-502

アクティビティ	高等専修学校と都道府県、地域の企業等が連携体制を構築し、高等専修学校に求められる職業教育機能を強化しつつ、「学びのセーフティネット」としての役割も踏まえた社会的・職業的自立が実現できるモデルカリキュラム等の開発とその普及啓発を行う。			
アウトプット	活動目標	開発したモデルの普及	活動指標	フォーラムの実施回数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	文部科学省調べ
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績				2026年度
	当初見込み／目標値(回)			1
	活動実績／成果実績(回)			--
後続アウトカムへのつながり	開発したモデルを普及し、各取組拠点を中心とした自治体・企業等の連携による高等専修学校のカリキュラムを充実することが重要であることから、「取組拠点が連携する自治体・企業等の数」を指標とする。			
短期アウトカム	成果目標	各取組拠点を中心とした自治体・企業等の連携による高等専修学校のカリキュラムの充実	成果指標	取組拠点が連携する自治体・企業等の数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	文部科学省調べ
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績				目標年度 2026年度
	当初見込み／目標値(件)			180
	活動実績／成果実績(件)			--
達成率(%)				--
後続アウトカムへのつながり	自治体・企業等の連携によって充実したカリキュラムについて、拠点校以外の高等専修学校においてもカリキュラムの改善や検討の進展等が重要であることから、「フォーラムにおいてモデルを取り入れる際の課題や工夫等を共有した高等専修学校、自治体及び専修学校団体の数」を指標とする。			

中期アウトカム	成果目標	モデルの普及を通じて、拠点校以外の高等専修学校においてカリキュラムの改善に向けた取組や検討が進展するとともに高等専修学校の認知度が向上	成果指標	フォーラムにおいてモデルを取り入れる際の課題や工夫等を共有した高等専修学校、自治体及び専修学校団体の数			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	全国高等専修学校協会調べ			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績				目標年度 2026年度			
	当初見込み／目標値(件)			50			
	活動実績／成果実績(件)			--			
達成率(%)				--			
後続アウトカムへのつながり	拠点校以外の高等専修学校においてカリキュラムの改善に向けた取組や検討を進展させ、高等専修学校の認知度を向上させることが重要であることから、「高等専修学校について知っている中学校教員の割合」を指標とする。						
長期アウトカム	成果目標	都道府県行政における高等専修学校の位置づけの明確化及び高等専修学校の認知度の向上	成果指標	高等専修学校について知っている中学校教員の割合			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	文部科学省調べ			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績			2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度
	当初見込み／目標値(%)	--	--	--	--	--	50
	活動実績／成果実績(%)	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 101-202-401-502

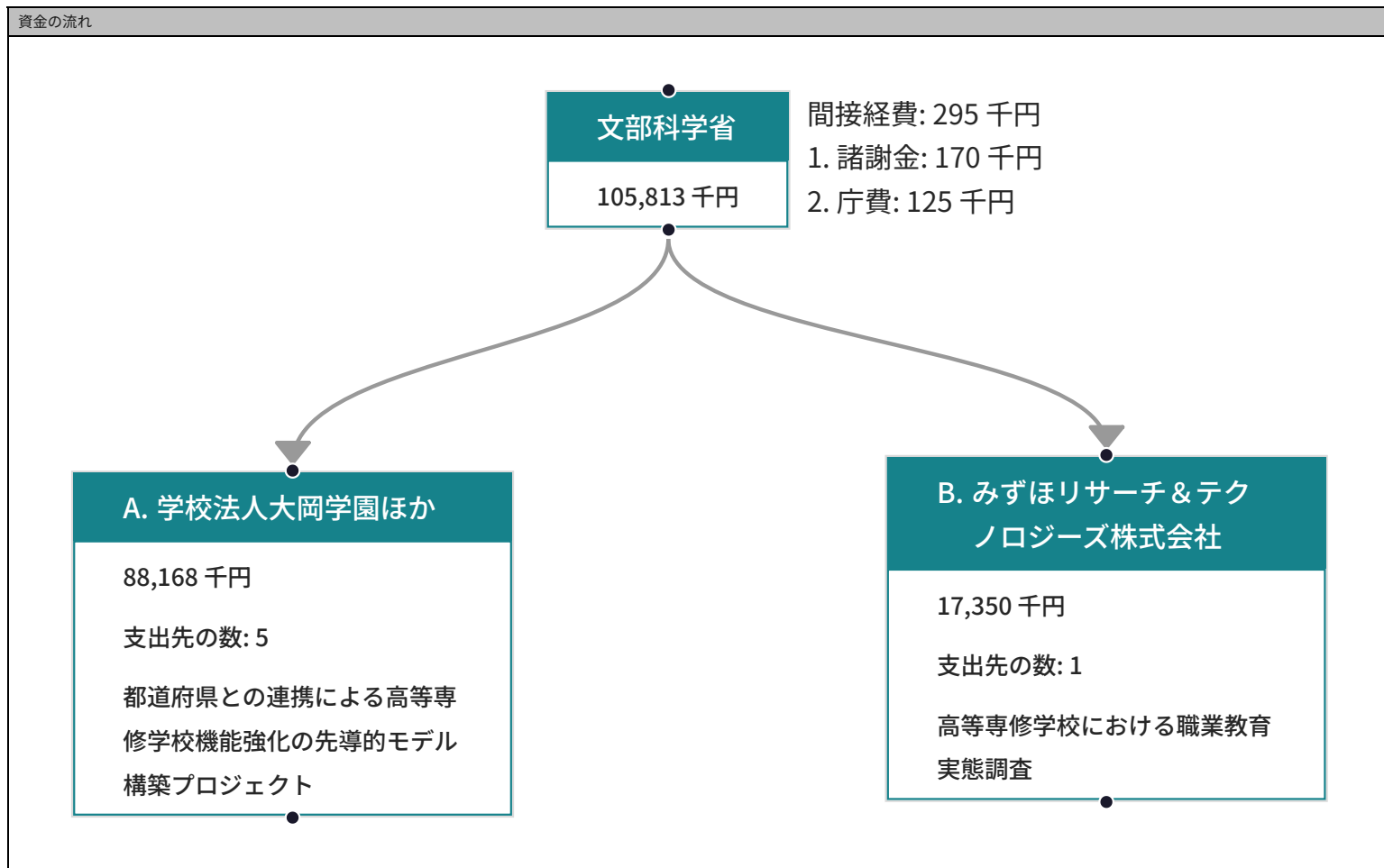
アクティビティ	高等専修学校と都道府県、地域の企業等が連携体制を構築し、高等専修学校に求められる職業教育機能を強化しつつ、「学びのセーフティネット」としての役割も踏まえた社会的・職業的自立が実現できるモデルカリキュラム等の開発とその普及啓発を行う。			
アウトプット	活動目標	開発したモデルの普及	活動指標	フォーラムの実施回数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	文部科学省調べ
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績				2026年度
	当初見込み／目標値(回)			1
	活動実績／成果実績(回)			--
後続アウトカムへのつながり	開発したモデルを普及し、拠点校以外の高等専修学校においてカリキュラムの改善に向けた取組や検討の進展等が重要であることから、「フォーラムにおいてモデルを取り入れる際の課題や工夫等を共有した高等専修学校、自治体及び専修学校団体の数」を指標とする。			
中期アウトカム	成果目標	モデルの普及を通じて、拠点校以外の高等専修学校においてカリキュラムの改善に向けた取組や検討が進展するとともに高等専修学校の認知度が向上	成果指標	フォーラムにおいてモデルを取り入れる際の課題や工夫等を共有した高等専修学校、自治体及び専修学校団体の数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	全国高等専修学校協会調べ
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績				目標年度 2026年度
	当初見込み／目標値(件)			50
	活動実績／成果実績(件)			--
	達成率(%)			--
後続アウトカムへのつながり	拠点校以外の高等専修学校においてカリキュラムの改善に向けた取組や検討を進展させ、高等専修学校の認知度を向上させることが重要であることから、「高等専修学校について知っている中学校教員の割合」を指標とする。			

長期アウトカム	成果目標	都道府県行政における高等専修学校の位置づけの明確化及び高等専修学校の認知度の向上	成果指標	高等専修学校について知っている中学校教員の割合			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	文部科学省調べ			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績			2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度
	当初見込み／目標値(%)		--	--	--	--	50
	活動実績／成果実績(%)		--	--	--	--	--
	達成率(%)		--	--	--	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--					
	URL	--					
	該当箇所	--					

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	高等専修学校の社会的な認知度は低く、教育振興基本計画において位置付けを明記している都道府県も多くはないことから、高等専修学校全体の機能強化・認知度向上を推進する必要があるため、国が総合的に推進していく必要があり、国費投入の必要性も高い。支出先の選定にあたっては、初年時に複数者による企画競争を行い、外部有識者による審査を経て、点数の高い企画提案者の選定を予定しているため、支出先の選定方法は妥当である。 他方、都道府県行政における高等専修学校の位置づけの明確化や高等専修学校の認知度の向上に向けては、短期的には各取組拠点を中心とした自治体・企業等の連携による高等専修学校のカリキュラムの充実、各拠点校における高等専修学校の学びのセーフティネット機能の強化、中期的には開発したモデルの普及を通じて拠点校以外の高等専修学校においてカリキュラムの改善に向けた取組や検討を進展させることが必要であることから、短期アウトカム及び中期アウトカムを中心に見直しを行った。		
	目標年度における効果測定に関する評価	-		
	改善の方向性	本事業の実施に当たっては、見直しを行った成果目標及び指標に基づき事業成果を適切に把握するとともに、開発したモデルについてフォーラム等を通じた成果の普及・発信を行うことにより、拠点校以外の高等専修学校におけるカリキュラム改善に向けた取組や検討の進展を図り、都道府県行政における高等専修学校の位置付けの明確化及び認知度向上に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	--	最終実施年度	2025
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	--	詳細	--
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	改善点・反映状況	--		
	反映額	会計	勘定	反映額(千円)
	詳細	--	--	--
公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			

支出先



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 学校法人大岡学園ほか			88,168	5	都道府県との連携による高等専修学校機能強化の先導的モデル構築プロジェクト
支出先名			支出額	法人番号		
学校法人大岡学園			24,338	8140005011962		
契約概要(契約名)/契約方式等			支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
県・地域企業との連携により企業関係者の積極的な学習への関わりを通して多様な学びに対応できる指導プログラムの構築 随意契約(その他)(会計法第29条の3第4項を適用)			24,338	7	100	--
支出先名			支出額	法人番号		
学校法人KBC学園			18,402	1360005000355		
契約概要(契約名)/契約方式等			支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
地域に根ざした高等専修学校機能強化先導的モデル構築 随意契約(その他)(会計法第29条の3第4項を適用)			18,402	7	100	--
支出先名			支出額	法人番号		
学校法人下関学院			18,131	6250005003125		
契約概要(契約名)/契約方式等			支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
eスポーツ×PBLによる主体的学習を目的とした職業実践的カリキュラム構築のための調査研究 随意契約(その他)(会計法第29条の3第4項を適用)			18,131	7	100	--
支出先名			支出額	法人番号		
学校法人野田鎌田学園			17,631	5040005014490		
契約概要(契約名)/契約方式等			支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
地方創生と学校力強化を図るための産官学連携による共創チャレンジ事業 随意契約(その他)(会計法第29条の3第4項を適用)			17,631	7	100	--
支出先名			支出額	法人番号		
学校法人豊野学園			9,666	7100005001654		

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
県・地域企業との連携により企業関係者の積極的な学習への関わりを通して多様な学びに対応できる指導プログラムの構築 随意契約(その他)(会計法第29条の3第4項を適用)		9,666	7	100	--
支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
B みずほりサーチ&テクノロジーズ株式会社		17,350	1	高等専修学校における職業教育実態調査	
支出先名		支出額	法人番号		
みずほりサーチ&テクノロジーズ株式会社		17,350	9010001027685		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
高等専修学校における職業教育実態調査 随意契約(その他)(会計法第29条の3第4項を適用)		17,350	2	100	--

費目・用途 (単位：千円)			契約概要（契約名）	費目	用途	金額	
	支出先名						
	A	学校法人大岡学園	県・地域企業との連携により企業関係者の積極的な学習への関わりを通して多様な学びに対応できる指導プログラムの構築	雑役務費	事業実施総合コーディネート費等	15,463	
	--	--	--	人件費	賃金等	3,237	
	--	--	--	一般管理費	光熱費等	2,213	
	--	--	--	旅費	会議出席旅費等	2,090	
	--	--	--	諸謝金	会議出席諸謝金等	915	
	--	--	--	借損料	会場借料等	183	
	--	--	--	通信運搬費	郵便代等	137	
	--	--	--	消耗品費	文具代等	95	
	--	--	--	会議費	飲料代等	6	
	B	みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社	高等専修学校における職業教育実態調査	人件費	賃金等	12,763	
	--	--	--	雑役務費	人材派遣費等	2,098	
	--	--	--	一般管理費	光熱費等	1,577	
	--	--	--	諸謝金	会議出席諸謝金等	358	
	--	--	--	旅費	会議出席旅費等	295	
	--	--	--	通信運搬費	郵便費等	259	
	国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)	契約先名		契約額	法人番号		
		--		--	--		

その他備考

--
